

# 令和7年度 第2回技術講習会（令和7年度 第2回愛媛県道路メンテナンス担当者会議）開催概要

○愛媛県内の関係機関連携のため、継続的に課題の状況を把握・共有し、効果的な老朽化対策の推進や新技術の使用を積極的に検討していくことで技術力・知識の向上を図ることを目的に、道路メンテナンス担当者を対象とした担当者会議を毎年開催。

○座学は、年間スケジュールの共有や道路管理の新技術・好事例、小規模附属物の点検に関する周知などについて今後の道路維持への関わり方を事例等を用いて説明。また、新技術活用の促進や全国の地方整備局が開催している職員による自主点検の研修制度について説明。

○実習は、コンクリート内部変状検出システム（J-システム）の実習をはじめ、約10の新技術（NETIS・性能カタログ掲載技術等）の概要説明や新技術を体験。また、自治体関係者は地域条件（海岸部・山間部など）毎に複数の新技術から選択し、詳細な説明や疑問点、コスト面等を質疑していくことで、ニーズに近い技術に興味を持ってもらう取組みを実施。

## 【開催日時・場所等】

開催日：令和8年2月18日（水）10:30～15:00

場 所：（座学）愛媛県生涯学習センター4階大研修室（Web併用）

場 所：（実習）愛媛県井門町 重信高架橋（NEXCO西日本管理） 右岸

参加者：愛媛県内道路管理者（国・県・市町）63名が参加（Web含）

※愛媛県下の20市町中19市町が参加

## 【開催内容】

（座学）①年間スケジュール ②道路管理の新技術・好事例

③小規模附属物の点検に関する周知事例

④研修実績・保有資格、相談窓口など

（現地）①コンクリートの内部変状検出システム（J-システム）

②道路補修に特化した修繕材料 ③路面の損傷点検システムなど

<座学実施状況>



<J-システム実技状況>



<新技術の体験状況>



## 会議を通じての意見等

- ・ 交付金や補助金制度について対象施設を確認。
- ・ 新技術の活用について、複数の技術を一度に体験できる場は非常に良かった。
- ・ 直営作業できる簡易的な補修材料系の技術については、今後、導入を前向きに検討していきたい。
- ・ 自治体と新技術担当者間で自由に質疑等ができ、接しやすく勉強になった。今後も続けてほしい。

## 今後の展望

- ・ 地方が今後のインフラメンテナンス（道路）に対応していくためには、予算確保が第一になってくる。本会議の実施を通じて座学では予算面をメインテーマにし、実習では新技術の活用を促す取組をしていきたい。上記の取組を引き続き実施していくことで、愛媛県内の自治体の技術力の底上げにつなげていく。